



# USB・PS/2コンソール両対応 パソコン自動切替器 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

**SW-KVM2HVCN**  
**SW-KVM4HVCN**



最初に  
ご確認ください

## セット内容(SW-KVM2HVCN)

- 切替器本体 ..... 1台
- ACアダプタ ..... 1個
- パソコン接続ケーブル1.2m ..... 2本
- USB-PS/2変換ケーブル ..... 1本
- 簡易ホットキー対応表シール ..... 2枚
- 取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

## セット内容(SW-KVM4HVCN)

- 切替器本体 ..... 1台
- ACアダプタ ..... 1個
- パソコン接続ケーブル1.8m ..... 2本
- パソコン接続ケーブル1.2m ..... 2本
- USB-PS/2変換ケーブル ..... 1本
- 簡易ホットキー対応表シール ..... 2枚
- 取扱説明書・保証書(本書) ..... 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

**サンワサプライ株式会社**

## 保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
  - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - ⑥譲渡や中古販売・オークション・転売などでご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理で依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

## 保証書

サンワサプライ株式会社

型番		<b>SW-KVM2HVCN ・ SW-KVM4HVCN</b>	
シリアルナンバー			
お客様	お名前	〒	
	ご住所	TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間	1年	お買い上げ年月日	年 月 日

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
  - ドライバのダウンロード
  - よくある質問(Q&A)
  - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。

### ▼トップページから



各情報ページを直接  
ご覧いただくこともできます。

### ▼サポートページへ



ご質問、ご不明な点などが  
ありましたら、ぜひ一度  
弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

**サンワサプライ株式会社**

岡山 サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京 サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区備前1-6-37 東栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市東区樽町16-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20 第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

■安全にお使いいただくためのご注意	3
・注意	3
・お手入れについて	3
■取扱い上のご注意	3
■本書について	4
■本書の表記について	4
■本製品の特長	4
■必要なハードウェア環境	5
・対応パソコン	5
・対応OS	5
■各部の名称と働き	6
・フロントパネル	6
・バックパネル	7
■本製品の使用方法	8
・接続する前に	8
・接続例	9
・ポート番号の割当て	10
・ホットプラグ	10
・終了と再起動	10
■基本操作	10
・ボタン切替え	10
■ホットキー操作	11
・ホットキーによるポートアクセス	11
・ホットキーモードの呼出し	11
・ホットキーモードが有効になったら	11
・ポートのダイレクト切替え一覧表	11
・オートスキャン	12
・その他のホットキー機能	12
■OSD操作	13
・OSDの概要	13
・OSDメイン画面	13
・OSDの操作	13
・OSDメイン画面に表示される文言などについて	14
・OSD機能	15
F1 : KVM	15
F2 : USB	15
F3 : AUDIO (オーディオ)	15
F4 : SCAN (スキャン)	15
F6 : SET (セットアップ)	16
F7 : PN	18

■Macキーボードエミュレーション	18
■OSD初期設定値	19
■仕様	20
■トラブルシューティング	21
■SPHDコネクタについて	22
■保証規定・保証書	24

## 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

■注意：下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
  - ①直射日光の当たる場所
  - ②湿気や水分のある場所
  - ③傾斜のある不安定な場所
  - ④静電気の発生する場所
  - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- ①清掃するときは電源を必ずお切りください。
- ②機器は柔らかい布で拭いてください。
- ③シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

## 取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万一に備えてデータのバックアップをこまめに行うことをお勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)

## 本書について

この取扱説明書では**SW-KVM2HVCN・SW-KVM4HVCN**の取付けや接続方法、操作方法について説明しています。

本書の構成については下記をご覧ください。

- はじめに …………… 本製品の特長や機能の紹介、またフロント・バックパネルについて説明します。
- 導入 …………… 本製品の接続や設定方法などについて説明します。
- ホットキー操作 …… 本製品のホットキー操作について説明します。
- OSD操作 …………… 本製品のOSD(オンスクリーンディスプレイ)の詳細および操作方法について説明します。
- 付録 …………… 本製品についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

## 本書の表記について

[ ]	入力するキーを示します。例えば【Enter】はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、【Num Lock】+【-】のように「+」を表記してあります。同時ではなく順番に押す場合は、【K】【Enter】のように列記してあります。
①	番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
●	●印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
⚠	重要な情報を示しています。

本書では、以下の表記を使用します。

KVM ……………	キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ ………	スピーカー・マイクのこと
USBハブ ……………	フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

## 本製品の特長

- 1組のキーボード・マウス・ディスプレイで複数のパソコンを切替え可能  
1組のキーボード・マウス・ディスプレイで複数のパソコンを切替えて使用できます。
- PS/2コンソール、USBコンソール両対応のコンボタイプ  
キーボードとマウスは同梱のUSB-PS/2変換ケーブルを使用することでUSB、PS/2どちらにも対応。マウスはUSB、キーボードはPS/2などの接続も可能です。
- USB接続の周辺機器を2台共有できる  
USB2.0ハブを2ポート搭載しており、USBプリンタなど各種USBデバイスを複数台のパソコンで切替えて共有することができます。さらに単独切替えも可能なので別のパソコンでUSB機器を動作させながら他のパソコンで作業をすることも可能です。
- スピーカー・マイクの共有可能  
スピーカー、マイクの共有も可能。単独切替えにも対応しておりコンソールデバイスとスピーカー・マイクは別々に切替えができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することが可能です。

## 本製品の特長(続き)

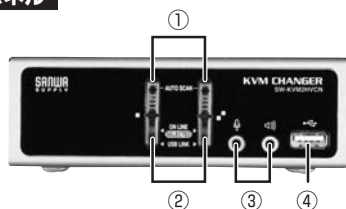
- フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載  
フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載。手軽に接続・取外しができるのでSkypeなどIP電話の利用時に便利です。
- 独立切替え可能  
KVM、USBハブ、オーディオの独立切替えが可能です。
- OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)機能を搭載  
OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)機能を搭載し、各デバイスの単独切替、総切替、切替状況確認が容易に行えます。
- Windows OS、Mac OS、Linux対応  
Windows OS、Mac OS、Linuxに対応。複数のOSが混在した環境でも使用できます。
- オールインワンコネクタ採用  
キーボード・マウス・ディスプレイの信号を1つにまとめたオールインワンコネクタを採用しています。接続も簡単で見た目も綺麗に配線ができます。
- オートスキャン機能搭載  
全てのパソコンをモニタリング可能なオートスキャン機能搭載。
- マウス・キーボードのみの接続可能  
マウス・キーボードのみの接続も可能です。(ディスプレイはパソコンへ直結して使用)
- ディスプレイエミュレーション機能搭載  
ディスプレイエミュレーション機能(EDID読み出し回路)を搭載。ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わる、画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- キーボードエミュレーション機能搭載  
キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。
- マウスエミュレーション機能搭載  
マウスエミュレーションON/OFF機能を搭載。切替時の素早いマウス操作が可能です。
- 高解像度2048×1536ドットまでの解像度で表示可能  
解像度は最大2048×1536まで対応。ワイド画面の解像度にも対応しています。
- 3種類の切替え方法に対応  
ホットキー、本体切替ボタン、OSD切替の3通りの切替方法に対応しています。
- ソフトウェアのインストール不要  
ソフトウェアのインストール不要で、接続するだけで全ての機能を使用することができます。

## 必要なハードウェア環境

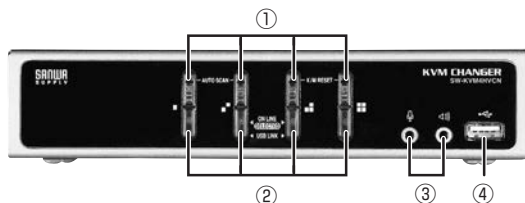
- 対応パソコン  
DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ  
(USB Aコネクタ、ミニD-sub(HD)15pinディスプレイコネクタを持つ機種)
- 対応OS  
Windows 8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応)  
Windows Server 2012(R2)・Windows Server 2008(R2)・Windows Server 2003(R2)  
Mac OS X、Mac OS 9.0以降  
Linux(CentOS、Ubuntu、OpenSUSE)

## 各部の名称と働き

### SW-KVM2HVCN フロントパネル



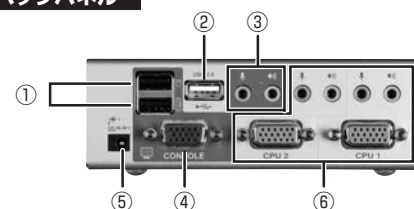
### SW-KVM4HVCN フロントパネル



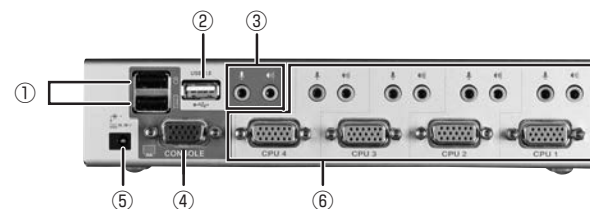
①ポート選択ボタン	ボタンを押すと、対応するポートと接続されたパソコンに切替わります。MODE1(デフォルト設定)とMODE2(代替設定)の2種類の設定があります。また、OSDの「F6:SET(セットアップ)」機能で、これらの設定を選択することができます。「F6:SET(セットアップ)」については、P.16を参照してください。						
②LED	ポート選択ボタンに内蔵されています。上段がKVMポートLED、下段がUSB LEDです。						
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">K V M</td> <td>点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。</td> </tr> <tr> <td>点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。</td> </tr> <tr> <td>点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">U S B</td> <td>点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。</td> </tr> <tr> <td>点灯時(明るいグリーン) ▶対応ポートに接続されたパソコンが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしています。</td> </tr> </table>	K V M	点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。	点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。	点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。	U S B	点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。
K V M	点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。						
	点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。						
	点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。						
U S B	点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。						
	点灯時(明るいグリーン) ▶対応ポートに接続されたパソコンが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしています。						
③コンソールポート(オーディオ)	コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。こちらのオーディオポートは、バックパネルのものより優先されます。						
④USB2.0ハブポート	お使いになるUSB機器(プリンタ・スキャナなど)を接続します。						

## 各部の名称と働き(続き)

### SW-KVM2HVCN バックパネル



### SW-KVM4HVCN バックパネル



①コンソール マウス・キーボードポート	マウス・キーボードを接続します。
②USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンタ・スキャナなど)を接続します。
③コンソール オーディオポート	マイク・スピーカーを接続します。
④コンソール ディスプレイポート	ディスプレイケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを接続します。
⑤電源ジャック	付属の電源アダプタを接続します。
⑥パソコンポート	付属の接続ケーブルを使用し、パソコンを接続します。各ポートは、マイクジャック・スピーカージャック・USB Aコネクタ・DVIコネクタで構成されています。

※本製品付属ケーブルの黄色15pinコネクタ(SPHDコネクタ)は特別に設計されたものです。誤って通常のD-sub15pinVGAケーブルを接続しないようご注意ください。



## 本製品の使用方法

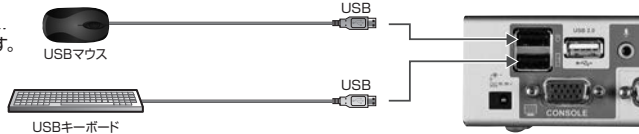
### ■接続する前に

- ①接続するパソコンや周辺機器など、すべての電源がOFFになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるパソコンは、電源ケーブルも抜いてください。
- ②パソコンや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアースされていることを確認してください。
- ③以下の手順に従って作業を行ってください。

- ①キーボードとマウスを、本製品バックパネルのコンソールマウス・キーボードポートに接続してください。

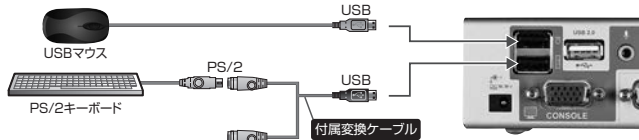
#### USBマウスと USBキーボードを使用する場合

それぞれ該当するポートへ接続します。



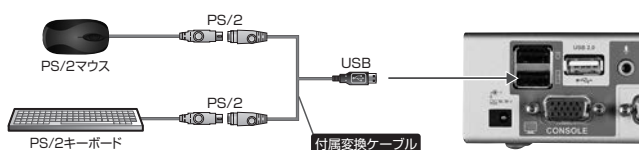
#### USBマウスと PS/2キーボードを使用する場合

マウスはマウス接続ポート(上側)へ接続し、キーボードは付属変換ケーブルを使ってキーボード接続ポート(下側)に接続します。



#### PS/2マウスと PS/2キーボードを使用する場合

いずれも付属変換ケーブルを使い、キーボード接続ポートに接続します。

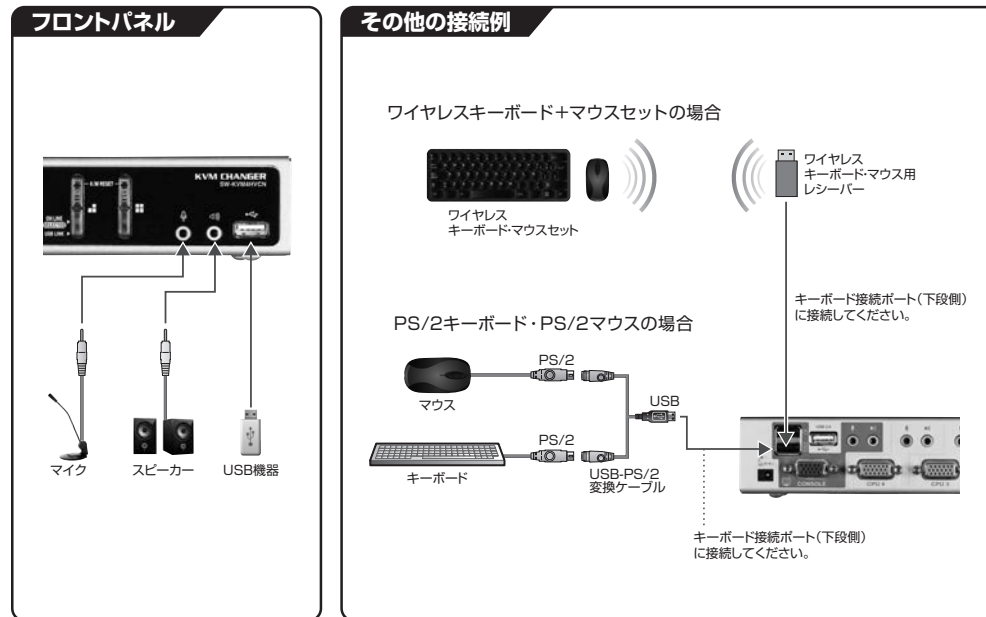
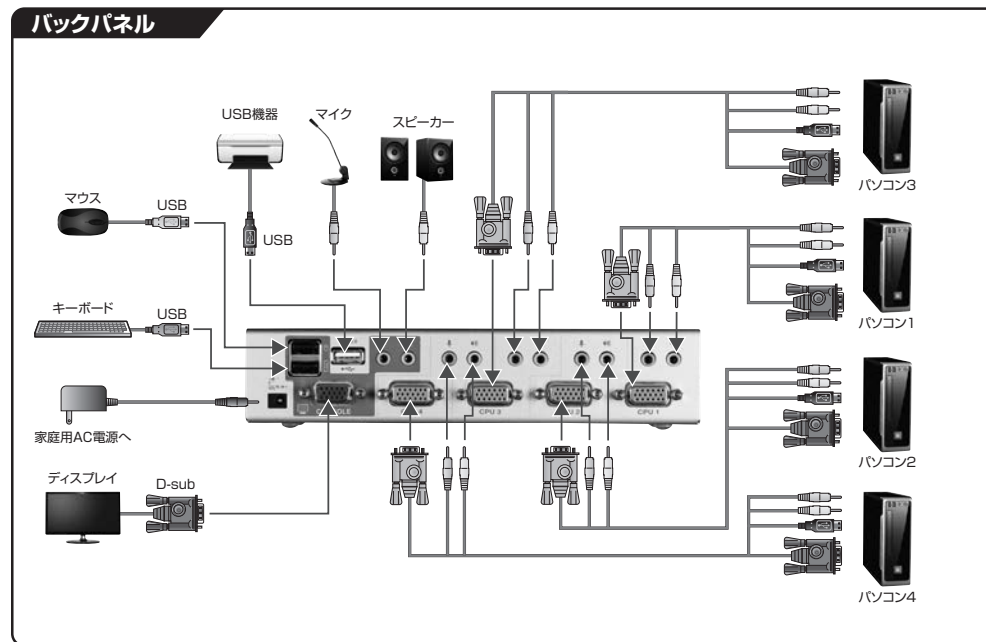


- ②ディスプレイケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを、本製品バックパネルのコンソールディスプレイポートに接続します。
- ③メインで使用するマイクとスピーカーは、本製品フロントパネルのコンソールポート(オーディオ)に接続します。  
※フロントパネルに接続したマイクとスピーカーは、バックパネルに接続したものよりも優先されます。
- ④付属のKVMケーブルを使用し、パソコンポートのSPHDポートにPHDコネクタを接続します。  
SPHDコネクタに付随しているマイク・スピーカーのコネクタは、SPHDコネクタを接続したポートと同じグループのマイク・スピーカージャックに接続します。
- ⑤ケーブルのもう一端は右図(P.9)のように接続します。
- ⑥付属のアダプタを使用し、本製品の電源ジャックとコンセントを接続します。
- ⑦USB機器は本製品フロントおよびバックパネルのUSBハブポートに接続します。
- ⑧パソコンの電源をONにします。



## 本製品の使用方法(つづき)

- 接続例 …… 図はSW-KVM4HVCNの接続例です。パソコンを4台まで接続・制御できます。



## 本製品の使用方法 (続き)

### ■ポート番号の割当て

本製品の各ポートには、ポート番号が割当てられています。ポート番号はバックパネルのパソコンポートに明記されています。

パソコンポートのポートIDは、そのパソコンを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート2に接続されたパソコンのポートIDは2になります。

ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替える時に使用します。

### ■ホットプラグ

本製品はUSBホットプラグに対応しています。本製品に接続された機器は、電源を入れたままUSBポートに接続・取外しができます。

### ■終了と再起動

本製品の電源を切ったり再起動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

- ①本製品の電源をOFFにします。
- ②本製品バックパネルからKVMケーブルを取外します。
- ③本製品から電源アダプタを取外します。
- ④10秒経過してから、KVMケーブルを再び接続します。
- ⑤本製品に電源ケーブルを再び接続します。

## 基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM	……………	キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ	……………	スピーカー・マイクのこと
USBハブ	……………	フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

### ■ボタン切替え

切替器前面のポート選択ボタン(SELECTED)を押して切替えます。

- ポート選択ボタンを1回押してすぐに離す。  
→KVMのみを選択したポートに切替えます。オーディオ・USBハブは切替わりません。
- ポート選択ボタンを2回押す。  
→オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2秒以上長押しする。  
→KVM・オーディオ・USBハブのすべてを、選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上長押しする。  
→オートスキャンを開始します。
- ポート選択ボタン3と4を同時に2秒以上長押しする。  
→キーボード及びマウスのリセットを行います。(SW-KVM4HVCNのみ)

## ホットキー操作

### ■ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによって、直接キーボードから任意のパソコンにKVMコントロールを切替え可能です。

### ■ホットキーモードの呼出し

ホットキーによる全ての操作は、まずHKM(ホットキーモード)を呼出してから行います。ホットキーモードの呼出しは次の手順で行います。

- ①【Num Lock】キーを押したまま、
  - ②【-】(マイナス)キーを押し、すぐに離します。
  - ③【Num Lock】キーを離します。
- 以下、この作業を【Num Lock】+【-】と表記します。

### ■ホットキーモードが有効になったら

- 【Caps Lock】と【Scroll Lock】のLEDが交互に点滅し、ホットキーモードが有効になったことを示します。
- 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
- 【Esc】キーを押すと、ホットキーモードを終了します。

### ■ポートのダイレクト切替え一覧表

ホットキー	機能
【Num Lock】+【-】【Enter】	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートに切替えます。 <b>SW-KVM2HVCN</b> : ポート1→ポート2 または ポート2→ポート1 ※1 <b>SW-KVM4HVCN</b> : ポート1→ポート2→ポート3→ポート4→ポート1
【Num Lock】+【-】【K】【Enter】	KVMコントロールのみを次のポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【U】【Enter】	USBハブのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【S】【Enter】	オーディオのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【Enter】	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 ※1
【Num Lock】+【-】【n】【K】【Enter】	KVMコントロールのみを選択したポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【U】【Enter】	USBハブのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【S】【Enter】	オーディオのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【K】【U】【Enter】	KVMコントロールおよびUSBハブを選択したポートに切替えます。 オーディオは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【K】【S】【Enter】	KVMコントロールおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 USBハブは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【U】【S】【Enter】	USBハブおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールは現在のポートのままです。
【Num Lock】+【-】【n】【K】【S】【U】【Enter】	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 【Num Lock】+【-】【n】【Enter】と同じ動作です。

※表中の【n】は、パソコンのポートID(1~4)を表しています。実際の操作時は、切替え対象となるポートIDを入力してください。

※1 KVM・USBハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによってすべて同じ選択ポートに切替えられます。

## ホットキー操作 (続き)

### ■オートスキャン

一定の間隔で自動的にKVMコントロールを切替えることができます。この機能によって、スイッチやOSDなどを毎回手動で操作することなく、KVMに接続されたすべてのパソコンの状態をモニタリングできます。ホットキー操作については下表をご覧ください。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールから秒間隔で切替わります。
[Num Lock]+[-] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが指定した間隔 (n=1~99秒) で切替わります。

#### ●スキャンインターバルの設定

オートスキャンのスキャンインターバル(間隔)は、OSD機能の「F6:SET(セットアップ)」機能でも設定可能です。

P.16の「F6:SET(セットアップ)」を参照してください。

●オートスキャンモードを終了するには、**[Esc]** または **[スペース]** キーを押します。

### ■その他のホットキー機能

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-] [D]	ポートに接続されたディスプレイのメーカーとディスプレイ情報を読み込み、保存します。切替え時にディスプレイ解像度の変更されるなどの症状が発生した場合に本操作を行いディスプレイ情報を保存してください。
[Num Lock]+[-] [F4]	テキストエディタのペースト機能で現在のOSD設定をリストアップできます。 a : ホットキー b : OSDホットキー c : ポートOS d : マウスエミュレーション e : ボタン設定
[Num Lock]+[-] [F5]	USBキーボードとマウスのリセットを行います。

## OSD操作

### ■OSDの概要

オンスクリーンディスプレイ (OSD) は、メニュー形式で **SW-KVM2HVCN**・**SW-KVM4HVCN** 本体の諸設定および接続されたパソコンの管理を行います。これらの操作はすべてOSDメインメニューから実行します。OSDメインメニューを呼出すには、**[Scroll Lock]** キーを2度押します。

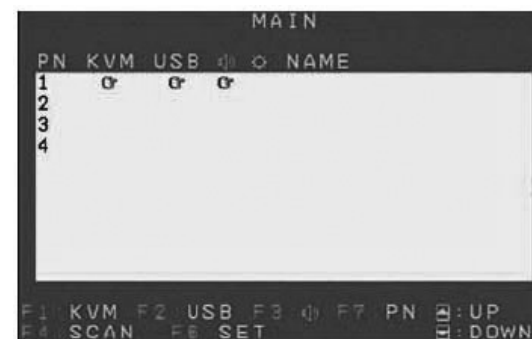
※OSD表示のホットキーはデフォルトの **[Scroll Lock]** キーから **[Ctrl]** キーに変更できます。

P.16の「OSDホットキー」を参照してください。

なお、**[Ctrl]** キーを2度押しする際は、同一の **[Ctrl]** キーを押してください。(左なら左側を2回、右なら右側を2回)

### ■OSDメイン画面

OSDを起動すると、以下のような画面が表示されます。



### ■OSDの操作

ポートを選択するには、**[F1]**・**[F2]**・**[F3]**・**[F7]** のファンクションキーを使用するか、上下のカーソルキーを操作することでハイライトバーを移動させます。ハイライトバーを切替えたいポートに移動させたら、**[Enter]** キーを押すかマウスの **左ボタン** を **ダブルクリック** します。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示はOSD画面から選択したポートに切替わります。

KVM・USBハブ・オーディオ・PNの列をクリックしても、ポートの選択が可能です。マウスを使用すると、1列または複数列の選択が可能です。**ダブルクリック** または **[Enter]** キーを押すとハイライトバーが表示されます。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示はOSD画面から選択したポートに切替わります。

KVM・USBハブ・オーディオ・PNの列は **[Tab]** キーでも選択可能です。上下のカーソルキーでポート番号を選択し、**[Enter]** キーを押します。ハイライトバーの **ダブルクリック** でも選択できます。選択されたポートに指型のアイコンが表示され、画面表示はOSD画面から選択したポートに切替わります。

「ネームリスト」の列では、Tabキーまたは上下のカーソルキーを使用してポートを選択します。ポートを選択し、**ダブルクリック** または **[Enter]** キーを押すと名前を編集することができます。





上記の方法以外でも、**[F7]** キーを押すか、マウスで「ネームリスト」の列のポート番号を選択することで、KVM・USBハブ・オーディオのすべてを同時に選択したポートに切替えることができます。

## OSD操作 (続き)

OSDを終了させるには、**[Esc]**またはマウスの右ボタンをクリックします。OSDの画面が消え、もとのパソコンの画面が表示されます。この場合、設定は保存されません。

設定を保存してOSDを終了させる場合は、**[Enter]**を押すか、中央の黄色い部分またはハイライトバーにカーソルを移動させマウスの左ボタンをダブルクリックします。

### ■OSDメイン画面に表示される文言などについて

PN	この列は、セットアップされたすべてのKVMポートのポートIDを表示します。選択したいポート番号にハイライトバーを移動させ、 <b>[Enter]</b> を押すと簡単にポートが切替わります。
KVM	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのパソコンがKVMスイッチによって選択されていることを表します。
USB	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのパソコンがUSBハブにアクセスしていることを表します。
	この列に指型のアイコンが表示されている場合、そのポートのパソコンがオーディオを選択していることを表します。
	このマークが表示されている場合、そのパソコンの電源が入っていて、オンラインであることを表します。
NAME (ネームリスト)	ポートに名前をつけると、この列に表示がされます。名前を編集するには、指定したポートの「ネームリスト」の欄をダブルクリックします。この部分をダブルクリックするとピンク色の四角い形をしたカーソルが表示され、ポートネームを編集できるようになります。 以下の文字を使用することができます。 アルファベット [a~z A~Z] 数字 [0~9] 記号 [+-/:.およびスペース]
 : UP	ここをクリックすると、ハイライトバーが上に移動します。
 : DOWN	ここをクリックすると、ハイライトバーが下に移動します。

## OSD操作 (続き)

### ■OSD機能

OSD機能は、OSDの諸設定とパソコンの管理に使用します。ポートの速やかな切替え、選択したポートのスキャン、ポートネームの編集・削除、OSDの設定変更などを行います。

OSD機能の操作には以下の手順を行います。

- ①メイン画面の上部にあるファンクションキーをクリックするか、キーボードのファンクションキーを押します。
- ②表示されたサブメニューから、操作するメニューを選択してダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させて**[Enter]**を押します。
- ③前のメニューに戻るには、**[Esc]**を押します。

### F1 : KVM

選択されているKVMのディスプレイ画面を見るには、**[F1]**キーを押すか画面上でカーソルを「F1: KVM」に移動してクリックします。(P.13の「OSDの操作」に記載されている手順に従ってください)

### F2 : USB

USBが選択されているパソコンのディスプレイ画面を見るには、**[F2]**キーを押すか画面上でカーソルを「F2:USB」に移動してクリックします。(P.13の「OSDの操作」に記載されている手順に従ってください)

### F3 : AUDIO (オーディオ)

選択されているオーディオのディスプレイ画面を見るには、**[F3]**キーを押すか画面上でカーソルを「F3: AUDIO(オーディオ)」に移動してクリックします。(P.13の「OSDの操作」に記載されている手順に従ってください)

### F4 : SCAN (スキャン)

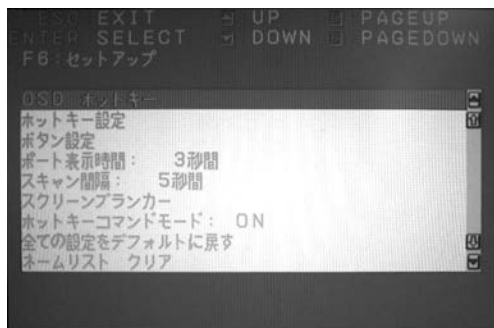
OSD画面上の「F4」をクリックするか**[F4]**キーを押すとオートスキャンモードが有効になります。この機能により、一定間隔でアクセス可能なパソコンに自動的に切替わります。ご自身で切替え操作を行わず、簡単にパソコンをモニタリングすることができます。

- オートスキャンなどのパソコンの選択には、ホットキーでスキャン/スキップモードの設定が可能です。(キーボードによるポート操作の詳細は、P.11「ホットキー操作」を参照してください)
- 各ポートの画面表示時間は、P.17の「F6:SET(セットアップ)」の「SCAN DURATION(スキャン間隔)」の項目で設定することができます。
- パソコンが接続されていないポートや接続されていても電源がOFFになっているポートでオートスキャンが実行されると、ディスプレイには何も表示されず、マウスおよびキーボード操作は無効になります。「SCAN DURATION(スキャン間隔)」で設定された時間が経過すると、次のポートをスキャンします。
- オートスキャンが有効になっている場合、コンソールは通常の操作ができません。通常のコンソール機能に戻るには、**[スペース]**キーまたは**[Esc]**を押してオートスキャンモードを終了してください。



### F6 : SET (セットアップ)

この機能では、使用環境を設定します。**[F6]** キーを押すかOSD画面で「F6」をクリックすると、以下のよう画面が表示されます。



- ① 設定の変更をする項目をダブルクリックするか、ハイライトバーを移動させ **[Enter]** を押します。
- ② 項目を選択すると、その項目のサブメニューが表示されます。(前のメニューに戻るには、**[Esc]** を押します)メニューを選択する場合は、その項目をダブルクリックするか、その項目までハイライトバーを移動させて **[Enter]** を押します。
- ③ 選択された項目の前にはアイコンが表示されます。設定項目は、下記リストを参照してください。

設定	機能
OSD ホットキー	OSDメインメニューを呼び出すホットキーを設定します。 <b>[Scroll Lock]</b> <b>[Scroll Lock]</b> または <b>[Ctrl]</b> <b>[Ctrl]</b> です。 <b>[Ctrl]</b> キーの二度押しは、パソコンで使用しているプログラムに対して不都合が生じる場合があるので、デフォルト設定は <b>[Scroll Lock]</b> キーの二度押しになっています。
ホットキー設定	ホットキー機能を有効にするホットキーを選択します。 (ホットキー操作については、P.11を参照してください) <b>[Num Lock]</b> + <b>[-]</b> または <b>[Ctrl]</b> + <b>[F12]</b> です。 デフォルト設定は <b>[Num Lock]</b> + <b>[-]</b> です。
ボタン設定	フロントパネルのポート選択ボタンの設定を、以下2つのモードから選択できます。  <b>MODE1</b> (モード1: デフォルト設定) ① ポート選択ボタンを1回押すと(2秒以内)、KVMだけが指定したポートに切り替わります。 ② ポート選択ボタンを2回押すと(2秒以内)、オーディオだけが指定したポートに切り替わります。 ③ ポート選択ボタンを2秒以上押すと、KVM・オーディオ・USBハブのすべてが同時に指定したポートに切り替わります。 ④ ポート選択ボタン1と2を同時に2秒間長押しすると、オートスキャンモードに入ります。 ⑤ ポート選択ボタン3と4を同時に2秒間長押しすると、キーボードおよびマウスがリセットされます。 ( <b>SW-KVM4HVCN</b> のみ)  <b>MODE2</b> (モード2: 代替設定) ① ポート選択ボタンを1回押すと(2秒以内)、KVM、オーディオ、USBハブのすべてが同時に指定したポートに切り替わります。 ② ポート選択ボタンを2回押すと(2秒以内)、オーディオが指定したポートに切り替わります。 ③ ポート選択ボタンを2秒以上長押しすると、KVMだけが指定したポートに切り替わります。 ④ ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上長押しすると、オートスキャンモードに入ります。 ⑤ ポート選択ボタン3と4を同時に2秒以上長押しすると、キーボードおよびマウスのリセットを行います。 ( <b>SW-KVM4HVCN</b> のみ)

(表は次ページにも続きます)

設定	機能
ポート表示時間	ポート切替が行われた後、モニタ画面にOSD画面を表示する時間を設定します。ユーザーにより指定(0秒~255秒)が可能です。デフォルト設定は3秒です。 例えば、この項目を5秒に設定して、 <b>[Enter]</b> を押し、前のメニューに戻ると、OSD画面表示時間は5秒に設定されます。
スキャン間隔	選択されたパソコンのスキャンを行うオートスキャンモードでの各ポートの表示時間を設定します。0~255秒の指定が可能です。デフォルト設定は5秒です。 <b>[Enter]</b> を押すと設定が保存されます。 ※数値「0」秒は、オートスキャン機能では無効です。
スクリーンブランカー	デフォルトでは、「SET TIMEOUT(タイムアウト時間設定)」がOFF、「SCREEN LOCK(スクリーンロック)」がOFFに設定されています。設定方法は以下のとおりです。 ① <b>[SET TIMEOUT]</b> をONにします。1~30分の入力が可能です。 「SET TIMEOUT」がOFFの場合、「SCREEN BLANKER PASSWORD(スクリーンブランカーパスワード)」および「SCREEN LOCK(スクリーンロック)」の項目を設定することができません。 ② <b>[SCREEN BLANKER PASSWORD]</b> を設定します。パスワードは8文字まで入力することができます。(A~Z、0~9を使用可能) デフォルトのパスワードを変更していない場合、 <b>[Enter]</b> を押すとスクリーンロックをキャンセルすることができます。 ③ スクリーンロックをONに設定するには <b>[Y]</b> を入力します。スクリーンロックがONに設定されている場合、スクリーンブランカーモードを終了してOSD画面に戻るためにはパスワードが必要です。
ホットキーコマンドモード	ホットキー操作がパソコンで動作中のプログラムと不都合がある場合などに、ホットキーコマンド機能の使用可能/不可を切替えます。デフォルトはONで使用可能になっています。
全ての設定をデフォルトに戻す	すべての変更を元に戻し、工場出荷時のデフォルト設定にします。(OSDの工場出荷時におけるデフォルト設定は、P.19を参照してください)ポートに指定した名前だけの設定だけが保存されます。
ネームリスト クリア	ポート名前設定を削除して、工場出荷時のデフォルト値(全ポート名前無し)にします。
ビーブ音の設定	ビーブ音のON-OFFの設定を行います。デフォルト設定はONになっています。ONに設定されると、ポートが変更されたとき、オートスキャン機能が有効になっているとき、また、OSDメニューで無効な入力がされたときにそれぞれビーブ音が鳴ります。
ポートOS	各ポートのOSをPC、Macに設定します。この項目を正しく設定することによってMac OSのキーボードの特殊キーを入力可能になります。 ポートを選択するには、上下のカーソルキーを使用するかマウスでクリックします。 <b>[スペース]</b> キーまたはマウスのダブルクリックでも各ポートのOS設定を変更することができます。
マウスエミュレーション	コンソールマウスポートのエミュレーション機能を有効/無効にします。デフォルト設定はONです。この設定をOFFにすると、マウスの信号はKVMスイッチで変換されることなく、そのままパソコンに送られます。 ※この機能は、USBマウスおよびパソコンのUSBポートを使用してセットアップしたときのみご利用いただけます。
マウス切替機能	マウスのスクロールボタンをダブルクリックすることでKVM・オーディオ・USBハブすべてが同時にPort1→Port2→Port3→Port4→Port1と循環して切り替わります。 <b>(SW-KVM4HVCN)</b> <b>(SW-KVM2HVCN)</b> はPort1→Port2→Port1の循環切替です。
OSD言語	OSDは、ENGLISH(英語)、日本語、DEUTSCH(ドイツ語)の3種類の表示言語の選択が可能です。デフォルト設定はENGLISH(英語)です。

## OSDの操作 (続き)










### F7: PN

この機能では、KVM・USB・オーディオが同時に指定したポートに切替わります。**【F7】** キーを押すかOSD画面の「F7:PN」をクリックすると、KVM・USB・オーディオの列を同時に選択することができるので、上下のカーソルキーでポート番号を選択します。**【Enter】** キーまたはマウスでダブルクリックすると、選択されたポートに指型のアイコンが表示されます。

OSD画面が消え指定したポートに切替わります。

## Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード (101/104キー) でも、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーを入力できます。対応は下記の表を参照してください。

PC互換キーボード	Macキーボード
<b>【Shift】</b>	shift
<b>【Ctrl】</b>	control
	
<b>【Ctrl】 [1] ※</b>	
<b>【Ctrl】 [2] ※</b>	
<b>【Ctrl】 [3] ※</b>	
<b>【Ctrl】 [4] ※</b>	
<b>【Alt】</b>	alt
<b>【Print Screen】</b>	F13
<b>【Scroll Lock】</b>	F14
	
<b>【Enter】</b>	return
<b>【Backspace】</b>	delete
<b>【Ctrl】</b>	F15

※ **【Ctrl】** キーを押してすぐ離し、その後フルキー側の数字キー **【1】** ~ **【4】** を押して離してください。

## OSD初期設定値

### OSD初期設定値一覧

**SW-KVM2HVCN・SW-KVM4HVCN**の工場出荷時における初期設定の内容は以下の通りです。

項目	初期設定値
OSDホットキー	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
キーボードポートホットキー	[Num Lock]+[-]
ボタン設定	モード1
OSD画面表示時間	3秒
スキャン時間	5秒
スクリーンブランカー機能	OFF(無効)
タイムアウト	OFF(無効)
スクリーンブランカーパスワード	[Enter]
スクリーンロック	OFF(無効)
ホットキーコマンドモード	ON
ビーブ音	ON
ポートOS	PC
マウスエミュレーション	ON
言語	日本語

SW-KVM2HVCN・SW-KVM4HVCNの仕様一覧表です。

品番	SW-KVM2HVCN	SW-KVM4HVCN
対応パソコン	DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタ、ミニD-sub(HD)15pinディスプレイコネクタを持つ機種)	
対応キーボード	PS/2キーボード、USBキーボード ※2・3・4	
対応マウス	PS/2マウス、USBマウス ※1・4	
対応ディスプレイ	ミニD-sub(HD)15pinコネクタを持つマルチスキャンディスプレイ	
対応解像度	最大解像度2048×1536ドットまで(DDC2B対応)	
対応スピーカー・マイク	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー・マイク	
対応OS	Windows 8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応) Windows Server 2012(R2)・Windows Server 2008(R2)・Windows Server 2003(R2) Mac OS X、Mac OS 9.0以降 Linux(CentOS、uBuntu、OpenSUSE)	
インターフェース	<b>&lt;パソコン用&gt;</b> オールインワンコネクタ:SPHD 15ピン(メス)×2 ※VGA/USB信号ラインを一体化 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 <b>&lt;コンソール用&gt;</b> ディスプレイ:ミニD-Sub(HD)15pinメス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー :3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 USB2.0ハブ:USB Aコネクタメス×2	<b>&lt;パソコン用&gt;</b> オールインワンコネクタ:SPHD 15ピン(メス)×4 ※VGA/USB信号ラインを一体化 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×4 マイク:3.5mmステレオミニジャック×4 <b>&lt;コンソール用&gt;</b> ディスプレイ:ミニD-Sub(HD)15pinメス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー :3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 USB2.0ハブ:USB Aコネクタメス×2
切替方式	本体ボタン切替、ホットキー切替、OSD切替、オートスキャン切替	
切替音	ビープ音 ON/OFF設定可能	
電源	ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)	
消費電流	最大1.5A	最大1.72A
動作時温度・湿度	0~50℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
保管時温度・湿度	-20℃~60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
サイズ	W130×D42×H70mm(本体サイズ)	W200×D42×H70mm(本体サイズ)
付属品	パソコン接続用ケーブル(1.2m)×2、 ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1、 USB-PS/2変換ケーブル×1、 簡易ホットキー対応表シール、 取扱説明書(保証書付き)	パソコン接続用ケーブル(1.2m×2、1.8m×2)、 ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1、 USB-PS/2変換ケーブル×1、 簡易ホットキー対応表シール、 取扱説明書(保証書付き)

※1 マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要があります。

※2 キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。  
キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能についても本製品経由では使用することができません。

※3 指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付キーボードなどでは動作しないことがあります。

※4 Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。

SW-KVM2HVCN・SW-KVM4HVCN トラブルシューティング

Q) 特殊なドライバを要するマウスをコンソールで使用すると一部の機能が動作しない。  
A) 本製品はデフォルトでマウスエミュレーションが有効になっており、特殊なドライバなどをエミュレートすることができません。P.17の表「マウスエミュレーション」の項目をご参照の上、マウスエミュレーション機能を無効にしてください。

Q) ワイヤレスキーボードマウスセットを使用したい。  
A) USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続しご使用ください。

Q) USBデバイスが認識しない。  
A) スキャナーや複合機プリンタなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。USBケーブル長を短くしてお試しください。

Q) ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。  
A) 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。(ただしOSD機能は表示することができないためご使用いただけません)

## SPHDコネクタについて



本製品はKVMポート、またはコンソールポートに対してSPHDコネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用のKVMケーブルのみ製品に接続することが可能です。



### 免 責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。

MEMO